

図書館連携作業部会 ワーキンググループメンバー募集要項

1. 目的

図書館連携作業部会の下に設置するワーキンググループ（以下、WG）では、次世代学術コンテンツ基盤の構築・推進のための諸課題について、課題解決のための調査・分析・検討を行います。そのために、図書館連携作業部会委員に加えて、大学図書館等からの実務担当者若干名をメンバーとして委嘱します。

2. WGの種類

別紙「WG一覧」のとおり、6つのWGの設置を予定しています。

3. 活動方法・活動期間

各WGは、図書館連携作業部会委員をチーフとして、各活動内容に基づき、調査・分析・検討を行います。具体的な作業内容は、WGメンバーの会合により決定します。課題に応じて、メールベースでの意見交換に加え、打合せのための会合を年数回程度予定しています。打合せに係る旅費は、国立情報学研究所が負担します。

活動期間は原則、単年度（平成21年度内）とします。

4. 推薦方法

推薦は、各機関単位で、別紙様式（推薦書）にて行ってくださるようお願いいたします。推薦書は1名につき1枚作成してください。1名を複数のWGに推薦する場合は、「推薦するWG番号」を複数ご記入ください。

なお、推薦者がいない場合はご回答の必要はありません。

推薦書の送付はメール、郵便、FAXいずれかの方法で下記宛てにお願いします。

5. 締め切り

平成21年6月22日（月）必着

6. その他

- WGのメンバーは、各機関からのご推薦に基づき、国立情報学研究所にて検討・調整の上、6月末日までに決定いたします。推薦者多数の場合は、委嘱できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- メンバーとして選出された方には、正式に委嘱状を送付いたします。

本件問い合わせ先、推薦状送付先：

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム

住所：〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

電話：03-4212-2302

FAX：03-4212-2375

電子メール：team_lib@nii.ac.jp

推 薦 書

平成 年 月 日

情報・システム研究機構
国立情報学研究所
学術基盤推進部長
安 達 淳 殿

(機 関 名)

(氏 名)

平成 21 年 6 月 11 日付国情研コ第 53 号で依頼のあった「国立情報学研究所 学術コンテンツ運営・連携本部 図書館連携作業部会 ワーキンググループ」のメンバーについて、下記のとおり推薦いたします。

記

1. 職 名
2. 氏 名
3. e-mail アドレス
4. 電話番号
5. 推薦する WG 番号
6. 推薦理由

7. 事務手続きに係る連絡担当窓口
職名
氏名
e-mail アドレス
電話番号

WG 一覧

No	WG 名	活動内容
1	新世代学術 コンテンツ 基盤システ ム検討 WG	<p>・中長期的な視点から、新世代学術コンテンツ基盤システムのあり方・方向性について提言を行う。</p> <p>[成果物] 新世代学術コンテンツ基盤のためのシステム連携やメタデータ・スキーマ等についての調査・検討結果レポート</p> <p>[成果提出期限] 平成 21 年度末まで。</p> <p>[その他] 他の WG の成果を踏まえつつ活動するため、活動開始時期を調整する。</p>
2	IR システム 検討 WG	<p>・機関リポジトリの更なる普及を目指し、現行の機関リポジトリのシステム運用や、メタデータ入力等の効率化、セントラルリポジトリのあり方を検討する。</p> <p>・世界の動向を踏まえつつ、現行の枠組みでは実現が困難であるが、近い将来必要とされる機能要件の洗い出しを行う。</p> <p>[成果物] ・メタデータ入力指針 ・学位論文ポータル機能要件（システム面・運用面）検討結果レポート ・クラウド型共用リポジトリ機能要件（システム面・運用面）検討結果レポート</p> <p>[成果提出期限] 平成 21 年度末まで。秋頃に中間報告する。</p>
3	IR と学術情 報発信高度 化に向けた 検討 WG	<p>・IR と大学出版・学会出版との連携の可能性に関する調査・検討を行う（主として書籍出版を担う大学出版会ではなく、紀要、学内学会、教材を含めた非営利の電子出版をターゲットとする）。</p> <p>・SPARC Japan 運営委員会の下で WG と連携し、SPARC Japan セミナーの共同企画や、セミナーへの積極的参加を通し、相互理解を深める。</p> <p>・研究者との密な連携、セルフアーカイブの実現に向けた調査検討を行う。</p> <p>[成果物] ・IR と大学出版・学会出版との連携の可能性に関する調査・検討結果レポート ・研究者・大学等学術機関の情報発信に関する事例報告レポート</p> <p>[成果提出期限] 平成 21 年度末まで。秋頃に中間報告する。</p>
4	第 3 期 CSI 事業検討 WG	<p>・CSI 事業は第 2 期（H20-21 年度）の 2 ヶ年目に入り、第 3 期のあり方を早急に検討する必要がある。第 2 期の評価を行ったうえで、その成果・反省点を踏まえ、第 3 期事業案を作成する。</p> <p>[成果物] ・第 2 期 CSI 事業評価レポート ・第 3 期 CSI 事業計画案</p> <p>[成果提出期限] 評価レポート及び第 3 期事業計画案は秋頃まで。最終報告は平成 21 年度末まで。</p>

5	ERDB 仕様 検討 WG	<ul style="list-style-type: none"> ・電子情報資源の総合目録的機能を担う ERDB（電子情報資源データベース）（仮名）を構築する。 <p>[成果物]</p> <p>ERDB の要求仕様書</p> <p>[成果提出期限]</p> <p>平成 21 年度末まで。</p> <p>[参考情報]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告) http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/project/catwg_last.html ・ERMS 実証実験平成 20 年度報告書 http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/erms_test_h20.html
6	人文社会系 電子コレク ション検討 WG	<ul style="list-style-type: none"> ・人文社会系電子コレクションの整備に向けた調査・検討を行う。 <p>[成果物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後整備を進めるべき人社系電子コレクションの整備リスト <p>[成果提出期限]</p> <p>平成 21 年度秋頃まで。</p>

(参考)

平成21年度学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会 委員名簿

名前	所属・役職	備考
行木 孝夫	北海道大学大学院理学研究院数学部門助教	
加藤 信哉	東北大学附属図書館総務課長	
逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授	副主査
宇陀 則彦	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科准教授	
荒井 幸代	千葉大学大学院工学研究科准教授	
竹内 比呂也	千葉大学文学部教授	
尾城 孝一	東京大学附属図書館情報管理課長	
横田 治夫	東京工業大学学術国際情報センター教授	
内島 秀樹	金沢大学情報部情報企画課長	
三根 慎二	名古屋大学附属図書館研究開発室専任助教	
木下 聡	京都大学附属図書館総務課長	
池田 大輔	九州大学大学院システム情報科学研究院准教授	
佐藤 義則	東北学院大学文学部教授	副主査
中元 誠	早稲田大学図書館事務部長	
寺井 仁	東京電機大学情報環境学部助教	
村上 泰子	関西大学文学部教授	
渡邊 隆弘	帝塚山学院大学人間科学部准教授	
根岸 正光	国立情報学研究所教授	主査
安達 淳	国立情報学研究所学術基盤推進部長	
大山 敬三	国立情報学研究所教授	
山地 一禎	国立情報学研究所准教授	
青木 利根男	国立情報学研究所学術基盤推進部次長	

※事務局：学術基盤推進部 学術コンテンツ課